会　議　録

会議の名称	令和８年度第１回坂戸市環境審議会
開催日時	令和８年１１月２日（月）　１４時００分～１５時１５分
開催場所	坂戸市役所　３０３・３０４会議室
会長の氏名	井元　りえ
出席者（委員）の氏名・出席者数	井元　りえ、板井　孝子、栗原　昇、弓削田　隆、椎名　卓治、真野　博、青木　健、杉田　里美、天沼　雄一　【９名】
欠席者（委員）の氏名・出席者数	小宮　晴喜、本橋　聡、内山　公久
傍聴者数	１名
事務局職員の職・氏名	環境産業部長　栗原　徹 環境産業部次長　武田　晋也 環境政策課長兼環境学館いずみ館長　庄司　圭呂 清掃センター所長補佐　土井丸　大祐 環境政策課課長補佐　植木　昌美 環境政策課係長　高沢　康弘 環境政策課係長　木村　貴浩 環境政策課主任　齋藤　直樹
会議次第	１ 開 会 ２ 挨 拶 ３ 議 事 坂戸市環境報告書令和８年度版（案）について ４ その他 ５ 閉会
配布資料	〈事前配布〉 ・令和８年度第１回坂戸市環境審議会次第 ・坂戸市環境報告書令和８年度版（案） ・第３次坂戸市環境基本計画 〈当日配布〉 ・坂戸市環境審議会委員名簿 ・席次表

議　事　の　経　過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局	本日の審議会は公開となっている。現在１名の傍聴希望者がいるので、入室していただく。
会長	（挨拶）
会長	議事に入らせていただく。 議事「坂戸市環境報告書令和８年度版（案）について」を議題とする。 事務局から説明をお願いする。
事務局	（環境報告書について、事務局より説明。）
会長	ただいまの説明について、意見・質疑はあるか。
委員	１５ページの基本目標１市の公共施設から排出される温室効果ガス排出量について、目標設定時に比べて増加しているとの説明があったが、事業活動や施設数の増加等により、削減に向けた取り組みを実施しても排出量の削減ができていない自治体等が多くある。目標が排出量の総量のため仕方のない部分かもしれないが、取り組みを実施しているということを示すため、原単位での視点を持つことも必要ではないか。

	また、今後は再生可能エネルギー由来の電気やカーボンオフセットした都市ガス等を利用している自治体もあるので参考にしてみてはどうか。
事務局	温室効果ガス排出量については、コロナ禍の影響により事業活動が通常よりも少ない年度との比較になるため、どうしても増加となっている。今後は原単位での比較といった視点も追加し、よりわかりやすい計画や報告書の作成をおこなっていきたい。
委員	高麗川の清掃活動やごみ拾い等の活動を行っているが、ポイ捨てが減らない。ポイ捨て対策の施策はあるのか。また、どんな取り組みをしているのか。
事務局	ポイ捨て対策の施策については、基本施策 4-2（1）まちの美化、不法投棄対策の推進①が該当になる。取り組みとしては、地域美化活動の実施のほか、清掃活動を行う方に対して火ばさみやほうき等の道具の提供を行っている。
委員	自治体によっては条例で喫煙禁止区域を設け、外での喫煙を禁止しているところもあるが、坂戸市は条例を制定しているか。
事務局	条例はなく規制もしていない。
委員	報告書の１６ページに坂戸ごみ分別アプリとある。坂戸防災アプリの登録者数は記載しているが、坂戸ごみ分別アプリの登録者数はどのくらいになるのか。また、坂戸市はリチウムイオン電池などの発火する危険性のある廃棄物の分別を県内でもかなり早い段階で実施しており、正しい分別を啓発するためにも目に見える数字を記載した方がよいのではないか。
事務局	登録者数は９月時点で２万人を超えたくらいである。報告書にも登録者数を記載するよう修正する。 また、発火性危険物の分別は令和３年度の１２月から分別を始めている。しかし、現在でも年間２６０件程度の大事には至らない火災が発生している状況である。
委員	発火性危険物による火災件数も数字で標記することで、分別しないと危ないことを周知できるので、報告書に掲載した方がよいと思う。
委員	１７ページに合併処理浄化槽への転換件数がほかの目標と比べ達成率が１２％と低い。事務局はこのことについてどのように評価しているのか。
事務局	単独処理浄化槽や汲み取り便槽からの転換については、お金に余裕のある方は転換がほとんど終わっているものと推察している。残りの方については、高齢であることやお金に余裕がないことを理由にお金をかけてまで転換したくないと考えている方が多いと認識している。
委員	転換が進まない理由として、合併処理浄化槽を導入するための条件が合わないことも１つの理由ではないか。処理水の放流先がないと合併処理浄化槽への転換は難しく、個人的には達成率が低いのは妥当と感じている。そのため、この目標値が妥当な値ではないように感じている。
事務局	目標値については、環境基本計画の改訂を行う際に目標値の見直しなどを検討する。
委員	１９ページの下から９行目に合併処理浄化槽への転換について新たな取り組みが必要との記載があるが、現状何を行うか決まっているのか。決まっていないのであれば、こういった表現は記載しないほうが良いのではないか。
事務局	具体的な取組事項は決まっていないので、表現を修正する。
委員	２３ページに「西清掃センターに市民も利用できる急速充電器を１台導入した」とあるが、利用状況はどのくらいか。
事務局	一般の方の利用は月に数件程度である。利用者は固定の方が充電にやってくる状況で、まだまだ利用者数を伸ばす余地もあるが、市の EV トラックも充電をする必要もあり、業務に支障のないようバランスを見て対応していきたい。
委員	２４ページに「子供の発育段階に合わせた食育を実施し」とあるが、どこで実施したのか。把握しているのであれば、実施した場所を記載した方がよいのではないか。
事務局	市内の保育園で実施している。記載内容については修正する。

委員	報告書を一通り見させてもらったが、植物からの視点が足りないと感じた。農薬等の薬品や地下水の状況等についても記載することでより良いものになるのではないか。
事務局	今後報告書に盛り込めるかどうかも含め、検討する。
会長	意見・質問がないようなので、「坂戸市環境報告書令和８年度版（案）について」は以上とする。
事務局	（事務連絡） ・来年度の環境審議会に関する取扱事務の変更について （変更点） 坂戸市廃棄物減量等推進審議会と合併すること 環境審議会において、廃棄物減量等の推進に関する事項も審議すること
会長	（閉会の挨拶）
事務局	閉会

以　　上